

令和7年度 学校経営シラバス評価表(関係者評価)

A：概ね実現できた4点、B：やや実現できた3点、C：やや実現されなかった2点、D：ほとんど実現されなかった1点 4点満点で評価

【教育活動】

領域	中期目標	今年度目標	目標実現のための具体的方策・評価の観点	A	B	C	D	平均値
学習指導	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・目標の実現に向けて主体的、対話的な深い学びの実現に向けた、授業改善を行っている。またICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組んでいる。	33%	67%	0%	0%	3.40
		評価方法の研究	・観点別評価を理解し、指導と評価の一体化につなげている。	33%	67%	0%	0%	3.40
		探究的な学びの推進	・学力の基礎・基本の定着を図り、教科横断型・探究的な学びを充実させる。	33%	33%	33%	0%	3.20
		教育課程の編成・管理	・PDCAサイクルによる実施状況の点検と、改善策を検証している。	33%	67%	0%	0%	3.40
生徒指導	規範意識と自己肯定感の育成	いじめの未然防止	・生徒の悩みや不安を迅速に受け止め、組織的に対応している。	67%	33%	0%	0%	3.20
		規範意識の醸成	・物事の善悪の判断、自己管理意識を高める取組をしている。	67%	33%	0%	0%	3.20
		自己肯定感、帰属意識涵養	・自治的な活動（能動的、協働的）を推進するための工夫、改善を実施すると共に、帰属意識を高めている。	33%	67%	0%	0%	3.40
			・生徒理解に努め、情報共有し、関係機関等との連携・協働を図っている。	33%	67%	0%	0%	3.20
進路指導	勤労観・職業観の育成とキャリア教育の充実	キャリア教育の充実	・多様な進路実現を目指し、全教職員が連携してキャリア教育を推進している。	67%	33%	0%	0%	3.40
		進学指導の充実	・目標実現までのロードマップ作成を通して、主体的な進路実現を図っている。	100%	0%	0%	0%	3.80
			・進路実現に必要な学力向上に向けた取組みを実施している。	100%	0%	0%	0%	3.80
			・職業観を高め、資格取得や試験対策に向けて取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	3.60
		開かれた進路指導	・保護者等や関係機関等と連携し、適切な情報提供や情報交換をしている。	100%	0%	0%	0%	3.80
健康・安全指導	心身の健康増進と安全教育の充実	健康安全指導の充実	・啓発指導を通して生命尊重、安全意識を高めている。	67%	33%	0%	0%	3.20
		教育相談体制の充実	・生徒理解に努め、適切な教育相談を行い、組織的に対応している。	67%	33%	0%	0%	3.60
		特別支援教育の充実	・支援を必要とする生徒の困り感を共有し、計画的、組織的に対応している。	67%	33%	0%	0%	3.20
		危機管理体制の向上	・日常的な施設設備の点検や安全確認、危機管理マニュアルや防災計画の見直しを実施すると共に、危機管理意識の向上について計画的に組織的な体制を図っている。	67%	33%	0%	0%	3.40

領域	中期目標	今年度目標	目標実現のための具体的方策・評価の観点	A	B	C	D	評価	
社会に開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校 ・魅力ある学校 ・安全、安心な学校 	広報活動の充実	・地域のニーズを把握し、ブランディングを行い、SNS等を効果的に活用した本校の魅力を発信することで、説明責任を果たしている。	67%	33%	0%	0%	3.40	3.40
		コミュニティ・スクールを活用した地域との連携、協働	・外部の人的、物的な教育資源の積極的に活用している。	67%	33%	0%	0%	3.60	
			・地域との連携、協働の機会を活用し、地域とともにある学校、地域を創る学校としての役割を果たそうとしている。	33%	67%	0%	0%	3.40	
			・地域、保護者等から理解や協力を得て活動している。	33%	67%	0%	0%	3.00	
		保護者との信頼構築	・懇談、面談、説明会、授業参観、広報等で信頼を構築している。	33%	67%	0%	0%	2.80	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共有と解決のための協働体制の構築 ・組織的かつ効率的な業務推進 	課題解決の精度	・課題解決に向けて計画的、組織的、効果的に取り組んでいる。	33%	67%	0%	0%	3.00	3.31
			・業務の精度を高め、確実に引き継ぎをしている。(PDCAマネジメントサイクルの機能活用)	33%	67%	0%	0%	3.00	
			・学校経営に参画する意識をもって積極的に取り組んでいる。	33%	33%	33%	0%	2.80	
		学校評価の活用	・学校評価の結果を教育活動の改善に反映している。	33%	67%	0%	0%	3.20	
		組織力、協働力向上	・情報共有や役割分担と協働により、チームで組織的に取り組んでいる。	33%	67%	0%	0%	3.20	
			・報告、連絡、相談を確実にし、個人ではなく組織として課題解決に取り組んでいる。	33%	67%	0%	0%	3.00	
			・心理的安全性と同僚性が発揮され、ウェルビーイングの向上に努めている。	33%	67%	0%	0%	3.00	
		働き方改革推進	・方針に基づく部活動運営や分掌業務の平準化やスリム化を意識しながら取り組むなど、業務改善を推進している。	67%	33%	0%	0%	3.40	
			・業務の適切な分担及び業務遂行の円滑化、効率化に向けて行動している。	67%	33%	0%	0%	3.40	
		資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての自覚と責任の涵養 	授業等の工夫、改善	・主体的、対話的で深い学びに向けた、授業改善への助言をしている。	67%	33%	0%	
・ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を研究し助言している。	67%				33%	0%	0%	3.60	
研修に努め、成果共有	・課題解決に向けた校内、校外研修を行い、成果を共有している。			67%	33%	0%	0%	3.60	
人材育成の充実	・初任層教職員等に対するOJTが適切に行われている。			33%	67%	0%	0%	3.20	
服務規律の遵守	・コンプライアンス遵守の意識が高まり服務規律の徹底を継続的に行っている。			67%	33%	0%	0%	3.60	

A：概ね実現できた4点、B：やや実現できた3点、C：やや実現されなかった2点、D：ほとんど実現されなかった1点 4点満点で評価

【教育活動】

領域 (前年度)	中期目標	今年度目標	目標実現のための具体的方策・評価の観点	A	B	C	D	平均値
(3.08)	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・目標の実現に向けて主体的、対話的な深い学びの実現に向けた、授業改善を行っている。またICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組んでいる。	4	16	1	0	3.14
		評価方法の研究	・観点別評価を理解し、指導と評価の一体化につなげている。	6	13	2	0	3.19
		探究的な学びの推進	・学力の基礎・基本の定着を図り、教科横断型・探究的な学びを充実させる。	7	10	4	0	3.14
		教育課程の編成・管理	・PDCAサイクルによる実施状況の点検と、改善策を検証している。	2	18	1	0	3.05
(3.38)	規範意識と自己肯定感の育成	いじめの未然防止	・生徒の悩みや不安を迅速に受け止め、組織的に対応している。	8	12	1	0	3.33
		規範意識の醸成	・物事の善悪の判断、自己管理意識を高める取組をしている。	6	15	0	0	3.29
		自己肯定感、帰属意識涵養	・自治的な活動（能動的、協働的）を推進するための工夫、改善を実施すると共に、帰属意識を高めている。	2	18	1	0	3.05
			・生徒理解に努め、情報共有し、関係機関等との連携・協働を図っている。	5	16	0	0	3.24
(3.13)	勤労観・職業観の育成とキャリア教育の充実	キャリア教育の充実	・多様な進路実現を目指し、全教職員が連携してキャリア教育を推進している。	3	17	1	0	3.10
		進路指導の充実	・目標実現までのロードマップ作成を通して、主体的な進路実現を図っている。	5	14	2	0	3.14
			・進路実現に必要な学力向上に向けた取組みを実施している。	5	13	2	1	3.05
		就職指導の充実	・職業観を高め、資格取得や試験対策に向けて取り組んでいる。	6	15	0	0	3.29
開かれた進路指導	・保護者等や関係機関等と連携し、適切な情報提供や情報交換をしている。	7	14	0	0	3.33		
(3.35)	心身の健康増進と安全教育の充実	健康安全指導の充実	・啓発指導を通して生命尊重、安全意識を高めている。	5	15	1	0	3.19
		教育相談体制の充実	・生徒理解に努め、適切な教育相談を行い、組織的に対応している。	2	16	3	0	2.95
		特別支援教育の充実	・支援を必要とする生徒の困り感を共有し、計画的、組織的に対応している。	6	13	2	0	3.19
		危機管理体制の向上	・日常的な施設設備の点検や安全確認、危機管理マニュアルや防災計画の見直しを実施すると共に、危機管理意識の向上について計画的に組織的な体制を図っている。	5	13	3	0	3.10

【学校経営】

領域	中期目標	今年度目標	目標実現のための具体的方策・評価の観点	A	B	C	D	平均値
(3.24)	地域に開かれた学校 ・地域に開かれた学校 ・魅力ある学校 ・安全、安心な学校	広報活動の充実	・地域のニーズを把握し、ブランディングを行い、SNS等を効果的に活用した本校の魅力を発信することで、説明責任を果たしている。	5	15	1	0	3.19
		コミュニティ・スクールを活用した地域との連携、協働	・外部の人的、物的な教育資源の積極的に活用している。	6	14	1	0	3.24
			・地域との連携、協働の機会を活用し、地域とともにある学校、地域を創る学校としての役割を果たそうとしている。	6	13	2	0	3.19
		保護者との信頼構築	・地域、保護者等から理解や協力を得て活動している。	9	12	0	0	3.43
(3.02)	課題の共有と解決のための協働体制の構築 ・組織的かつ効率的な業務推進	課題解決の精度	・課題解決に向けて計画的、組織的、効果的に取り組んでいる。	5	13	3	0	3.10
			・業務の精度を高め、確実に引き継ぎをしている。（PDCAマネジメントサイクルの機能活用）	2	17	2	0	3.00
			・学校経営に参画する意識をもって積極的に取り組んでいる。	6	15	0	0	3.29
		学校評価の活用	・学校評価の結果を教育活動の改善に反映している。	1	20	0	0	3.05
		組織力、協働力向上	・情報共有や役割分担と協働により、チームで組織的に取り組んでいる。	4	15	2	0	3.10
			・報告、連絡、相談を確実にし、個人ではなく組織として課題解決に取り組んでいる。	4	16	1	0	3.14
		働き方改革推進	・心理的安全性と同僚性が発揮され、ウェルビーイングの向上に努めている。	2	16	3	0	2.95
			・方針に基づく部活動運営や分掌業務の平準化やスリム化を意識しながら取り組むなど、業務改善を推進している。	2	13	6	0	2.81
・業務の適切な分担及び業務遂行の円滑化、効率化に向けて行動している。	1		14	6	0	2.76		
(3.26)	教育公務員としての自覚と責任の涵養	授業等の工夫、改善	・主体的、対話的で深い学びに向けた、授業改善への助言をしている。	4	15	2	0	3.10
			・ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な取組を研究している。	3	16	2	0	3.05
		研修に努め、成果共有	・課題解決に向けた校内、校外研修を行い、成果を共有している。	3	14	4	0	2.95
		人材育成の充実	・初任層教職員等に対するOJTが適切に行われている。	5	14	1	1	3.10
勤務規律の遵守	・コンプライアンス遵守の意識が高まり勤務規律の徹底を継続的にしている。	12	9	0	0	3.57		